

Aichi-ken  
Male chorus  
Festival



# 愛知県 男声合唱 フェスティバル

～愛知県で活動する男声合唱団14団体による歌の祭典～



2016年8月28日(日)

午後1:30 開演

刈谷市総合文化センター大ホール

主催:愛知県男声合唱フェスティバル実行委員会

後援:日本男声合唱協会・愛知県合唱連盟

## 男声合唱フェスティバルが実現！

実行委員長 鈴木 順  
(東海メールクワイア)

2013年3月、第三回男声合唱ジョイントコンサートが開催された。名古屋を拠点とする男声合唱団6団体による演奏会のフィナーレは、216名の合同演奏。伊東恵司さんの指揮で歌った「多田武彦作品集」は、多くの聴衆からも絶賛された。

この演奏会後、3回のジョイントコンサートの中で行ってきた交流の輪をもっと広げ、愛知県全体の活動にしていこうと話し合い、「男声合唱フェスティバル」という構想が浮かび上がった。もっと多くの団体に参加していただき、男声合唱の祭典にしようと。

しかし過去に経験のないことを始めるわけだから、まず共通のイメージを持つ必要がある。そこで昨年7月に京都で行われた「全日本男声合唱フェスティバル」に6団体の有志で合同合唱団を特別編成し参加した。全国から集まった男声合唱団との合同練習会、そのあととの楽しい交流会、そしてコンサートを体験し一体感を持つことができた。

こんな楽しい会を愛知県でもやろうよ、という呼びかけに14団体が賛同し、本日の演奏会を迎えた。昨年の春から準備をはじめ、1年余をかけて実現にこぎつけた。ちょっと気が早いが、次の機会にはもっと多くの団体が参加を希望してくるだろう。いくつかの合唱団が連携をして大きなイベントを企画することもできる。将来は愛知県だけでなく、全国規模の男声合唱フェスティバルが実現できるかもしれない、と夢はどんどん膨らんでくる。

今日ご来場いただいたお客様は、愛知県で初めて男声合唱のフェスティバルが行われた「歴史の証人」である。そして参加したメンバーがともに力を合わせ、これから私たちは新しい歴史を作っていくのだ。

## ジョイントからフェスティバルへ ～男声合唱の活性化を目指して～

男声合唱ジョイントコンサート実行委員  
前グランフォニック団長  
細江太喜雄

『このままでは、男声合唱の活動の先行きが危ぶまれる。大学のグリークラブの数も大きく減り、将来の男声合唱を支える世代がいなくなるのでは?…』今から11年ほど前、こんな思いを抱いた諸先輩達が集まりました。

男声合唱の活性化を目指し、名古屋市内男声合唱団5団体が一堂に会して、2006年6月に第一回男声合唱ジョイントコンサートを開催しました。合同演奏は、地元出身の松尾葉子先生にお願いをし、180名の迫力ある演奏でお客様を魅了し、成功裏に終えることができました。第二回は2009年5月、4団体に加え、東海メールクワイアの有志の参加をいただき、クール・ジョワイエの桂冠指揮者高須道夫先生による合同演奏を184名の大合唱で演奏いたしました。第三回男声合唱ジョイントコンサートは、2013年3月に6団体での開催となりました。関西で大活躍の伊東恵司先生による合同演奏では、多田武彦作品で男声合唱の神髄に触れることができました。男声合唱の活性化の狙いの一環として、合同演奏では一般公募も行い、216名という大合唱に、お客様はもちろん、ステージに立った参加者も、男声合唱の醍醐味を味わうことができました。

参加6団体は、SINGERSなも、男声合唱団「昴」、クール・ジョワイエ、男声合唱団「響」、東海メールクワイア、グランフォニックです。この10年余の間、参加団体がお互いに切磋琢磨し、それぞれ活発な音楽活動を行ってまいりました。

その間に、この活動の輪をさらに広げ、より多くの方に男声合唱の良さを分かってもらいたい、より多くの団体とともにこの喜びを分かち合いたい、という強い思いが、参加団体に大きな決意を促しました。愛知県に活動の基盤を置く多くの男声合唱団に参加を呼びかけ、その趣旨にご賛同いただき、開催の運びとなったのが、このたびの第一回愛知県男声合唱フェスティバルです。活動方針はそれぞれ異なりますが、男声合唱をこよなく愛する心は一緒です。今回、14団体、400名を超える方々の参加を得て開催することは、地元の音楽活動に大きな布石となると信じます。男声の迫力もさることながら、ピアニッシモの透き通ったハーモニー、これぞ男声合唱の神髄と言えます。

今回の男声合唱フェスティバルを機に、更に大きく輪を広げ、愛知県の、更には日本の音楽活動の発展に寄与すべく、皆さまとともに大いに楽しみたいと願います。

## PROGRAM

1. 東海メールクワイア
2. 南山ゴールデンメイルクワイア
3. 男声合唱団 ダンディ・ライオンズ
4. 男声合唱団 「昴」
5. クール・ジョワイエ

~~~~~ 15分 休憩 ~~~~

6. 愛知メンネルコール
7. 名古屋グリークラブ
8. 合唱団「男声合唱を楽しむ会」
9. 男声合唱団 ふんけんクラブ
10. グランフォニック

~~~~~ 15分 休憩 ~~~~

11. ensemble Solaris
12. SINGERSなも
13. 尾北男声合唱団
14. 男声合唱団 韶

15. 合同演奏

  フィンランディア

  指揮：樅山 英機

  夢みたものは

  指揮：橋本 慧

  最上川舟歌

  指揮：小嶋 聰



## 各合唱団曲目・プロフィール

### 9. 男声合唱団 ふんけんクラブ

男声合唱組曲「雪明りの路」より

作詩 伊藤 整

作曲 多田 武彦

I 春を待つ

III 月夜を歩く

VI 雪夜



ミュージカル

「ライオンキング」から

サークル オブ ライフ

作詞 Tim Rice

作曲 Elton John

日本語詞 松澤 薫

指揮 吉村 純

ピアノ 中村 はるみ

1990年にベートーヴェンの「第九」を愛するメンバー達が集まって創団されました。団名の「ふんけん」は「第九」歌詞中の「ゲッテルフンケン(神々の輝き)」から命名されました。

以来、過去5回の不定期演奏会のほか、合唱祭や三遠南信文化交流・合唱の集い等に積極的に参加し、様々な合唱団とジョイントコンサートを重ね、合唱を通じて交流を深めて参りました。

来年、開催します不定期演奏会では、多田武彦作曲男声合唱組曲「雪明りの路」をワンステージメンバーを含め110名の予定で演奏することとなりました。

2017年1月22日(日)、プラット(豊橋駅に隣接)にて第6回不定期演奏会を開催します。楽しいステージも行いますので、皆様ぜひお越し下さい!

### 10. グランフォニック

別宮貞雄歌曲集「淡彩抄」より

作詩 大木 憲夫

作曲 別宮 貞雄

編曲 北村 協一

I 泡(あわ)

II 蛍

IV 涼雨

V 別後

VI 燈(ともしび)

VII 天の川

IX 鶯(さぎ)

X 春近き日に

戦後日本歌曲の最高傑作を男声合唱に編曲、「男の情念のこまやかさとやさしさ」を歌います。



1996年結成の東海在住の全国の主にグリークラブ出身者が集まった合唱団で、今年で創立20周年となります。2000年、造語ですがGRAND(雄大な)、PHONIC(豊かな響き)でGRANPHONICと改名しました。

1年半ごとに定期演奏会を開催し、創作・編曲に限らずオリジナル作品を必ず発表、ドイツ語(または他の外国語も含めて)の曲にも取り組んでいます。

2017年1月14日(土)名古屋市以外では初めてになりますが、東海市芸術劇場で第14回定期演奏会を開催します。今日の「淡彩抄」全曲、シューマン「詩人の恋」、ミュージカルの名曲による替え歌集「ある男の恋物語」をお届けします。どうぞ期待ください。

指揮 小嶋 聰

ピアノ 鈴木 美智子

## 15. 合同演奏 フィンランディア

作曲 ジヤン・シベリウス

ジヤン・シベリウスの作品中、もっとも有名な「交響詩フィンランディア」は、まだ独立前のフィンランドがロシア化政策の厳しい締め付けの中にあった1899年の作である。

この曲の後半の静かなメロディーに「フィンランディア贊歌」という詩が付けられたのは1940年、即ち強大なソ連に対抗する「冬戦争」の時である。「闇を追い払い、輝く朝が来る」と、国民の愛国心を熱く鼓舞している。

日本語訳詩は原詩とはやや異なり、世界平和を願う柔らかなものとなっている。



**指揮者 梶山英機** (男声合唱団 「昴」)

1965年、名古屋大学経済学部卒業

在学中に同大学男声合唱団指揮者を務める

現在、名古屋市民コーラス団内指揮者、市民第九コンサート合唱指導、名古屋男声合唱団指揮、愛知合唱協会理事。

## 夢見たものは

作曲 木下 牧子

立原道造の詩に作曲家の木下牧子先生が混声四部合唱で曲を書いたのがオリジナルです。本日演奏する男声四部合唱版は、2004年に書かれました。女声三部版も書かれており、よく演奏される作品のひとつです。

木下先生は「ことば」をとても大切にして曲を書かれています。立原道造の美しい詩(ことば)を合同の大合唱でいかに表現できるか、そして、木下作品の特徴ともいえる長いフレーズをいかに歌うかが聴きどころです。



**指揮者 橋本 慧** (SINGERSなも)

南山大学数理情報学部数理学科を卒業後、愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻

同大学大学院博士課程声楽領域修了

プロコーラスグループ CoCoRoni メンバー

音楽結社 Pappataci メンバー

## 最上川舟唄 山形県民謡

作曲 清水 僕

福島県と山形県の県境に位置する吾妻山北部を源とし、山形県のみを流れる最上川。記録によれば奈良時代より河川流域で広く稻作が行われており、水運が盛んであったことから相当古い時代から舟唄が生まれていたことは想像に難くありません。そんな舟唄を昭和初期、渡辺国俊、後藤岩太郎らによって仕上げられ、正調として現在の最上川舟唄が誕生しました。その後1957年、この曲を題材に清水脩によって新たに合唱曲として作編曲された最上川舟唄、合唱曲としての民謡では、国内外問わず秀逸な作品であり、作曲以来約60年、世界の合唱団でも脈々と歌い継がれています。



**指揮者 小嶋 聰** (グランフォニック)

慶應義塾大学理工学研究科卒業。ワグネル・ソサイエティー男声合唱団所属時は責任者兼練習ピアニストを務める。その傍ら、ミュージカルの主宰・指揮・編曲など幅広い音楽活動を積極的に行い、現在に至る。

指揮を角田鋼亮氏に師事。

Aichi-ken  
Male chorus  
Festival

## ～男声合唱フェスティバルまでの流れ～

第一回ジョイントコンサート 2006年 6月4日 愛知県芸術劇場コンサートホール

第二回ジョイントコンサート 2009年 5月30日 愛知県芸術劇場コンサートホール

第三回ジョイントコンサート 2013年 3月17日 愛知県芸術劇場コンサートホール



第三回 ジョイントコンサート 合同演奏

### ● 愛知県男声合唱フェスティバル実行委員会 ●

グランフォニック

木村 文隆 間瀬 譲

クール・ジョワイ

福本 忠弘 永井太郎

男声合唱団 韶

志水 武夫 金柿 伴典 杉浦 秀継

男声合唱団 「昴」

磯野 正敏 酒井 哲夫 大池 廣

SINGERS なも

澤野 比呂志 小木曾 哲夫

東海メールクワイア

鈴木 順 村瀬 輝恭 徳永 達弥

第31回国民文化祭・あいち2016応援事業  
**愛知県男声合唱フェスティバル**

= 愛知県で活動する男声合唱団 14 団体による歌の祭典 =

東海メールクワイア エストニアの男声合唱曲

南山ゴールデンメイルクワイア Golden`s Favorite Songs

男声合唱団 ダンディ・ライオンズ 「梅酒」「智恵子抄巻末のうた六首」

男声合唱団「昴」 多田武彦「叙情小曲集」

クール・ジョワイエ 「合唱のためのコンポジション第3番」

愛知メンネルコール 「或る夜のこころ」

名古屋グリークラブ 「アイヌのウポポ」

合唱団「男声合唱を楽しむ会」 新実徳英男声合唱作品から

男声合唱団 ふんけんクラブ 「雪明りの路」他

グランフォニック 別宮貞雄歌曲集「淡彩抄」

*ensemble Solaris* 「Enfance finie」

SINGERS なも 「三つのマリアの歌」

尾北男声合唱団 「大手拓次の三つの詩」他

男声合唱団 韶 「父におくる歌」他(以上演奏順)

3人の指揮者による合同演奏 ~400人の男声合唱をお楽しみください~

**2016年8月28日(日)**

午後1時30分開演(午後1時開場)

**刈谷市総合文化センター 大ホール**

刈谷市若松町2-104 (名鉄・JR刈谷駅から徒歩3分)

**入場料 900円**

(自由席ですが、一部合唱団席を指定させていただきます)

主催 愛知県男声合唱フェスティバル実行委員会

後援 日本男声合唱協会・愛知県合唱連盟

■問合せ先 実行委員会代表 今村 順 ☎0566-36-3504